

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立八戸盲	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input checked="" type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	「販売をしよう」		
	単元(題材)の目標	・身に付けた力を活用しながら、主体的に活動に取り組むことができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1、2 年 2 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・金種は理解しており、硬貨や紙幣を見て、いくらか答えることができる。 ・値段表記（数字）を見て、値段を読むことができる。 ・販売活動において、接客に関する手順やマナーについては少しずつ慣れてきているが、数学的なことを含むお金の計算などに関して理解が難しい場面がある。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	「即売レジ」		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・本アプリは、「会計支援アプリケーション」である。 計算や計算式に対する理解が難しい場合でも、タブレット上で商品の写真、個数などを順番に選択をしていくことで、合計金額やおつりなどを視覚的に確認することができ、お客さんを待たせずに対応することができる。 		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・知的代替教育課程履修生徒の作業学習内で行っている販売活動で ICT 機器を活用している事例である。 ・数学的な認知発達を補うための会計支援アプリケーションを使用した。 ・販売活動において、お金の計算などが難しい生徒に対して、自動的に合計金額やおつりの数値がタブレット上に出てくる。本アプリを使用することで、生徒の苦手な部分を ICT で補いながら、お客さんとのやりとり（販売活動）をスムーズに進めることができるようになった。 			